

地域一体となった食育の推進に向けて！

事業実施主体：雲仙市(長崎県)

長崎県



- 雲仙市は、肥満者及び高血圧者の割合及び20～30歳代の朝食不摂取者の割合が増加傾向にある。また、野菜摂取量も不足しており、肥満や高血圧などの生活習慣病の更なる増加が懸念されている。
- このことから、食育推進の基本となる「第2次雲仙市食育推進計画」の見直し検討を進めるとともに、地域農産物の魅力を再認識し、地域の食への興味関心を深める施策の方向性を検討するなど、健全な食生活を実践し、健康寿命の延伸につながる食育の積極的な推進を図る必要がある。

【取組の内容】

○ 食育推進検討会の開催

- ・ 市の食育推進における課題や施策の方向性等を整理し、食育の推進方法等について庁内会議を実施して検討(6月、12月、年2回開催)
- ・ 「第2次雲仙市食育推進計画」の見直しに伴い、地場産農産物の学校給食への利用促進に向けた取組目標等の検討を行うなど次期計画の立案等を行うとともに、計画書案を作成し、関係機関へ配布して検討。



(食育推進検討会)

【取組の成果】

- ・ 多様な関係者が市の食育に関する課題の共有や具体的な取組等を検討し、それぞれの特性を生かして連携・協働することで、地域が一体となって食育を実効的に推進。
- ・ 事業目的の達成のためには、引き続き市の食育関係課及び関係機関等との連携を強め、協力を得る必要がある。

○ 学校給食における地場産物を使用する割合

実施前80.4%
⇒実施後84.7%

○ 産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合

実施前73.5%
⇒実施後77.3%

